■「美術館の思い出」に寄せられたメッセージ

●美術館でのさまざまな思い出

・沢山のあこがれに出会う場所です。中・高・大・社会人。佐藤忠良先生の言う“ビタミン”を心に憧れをもらいに通いました。
・40 年前、近くの高校に通っており、授業中「美術館へ行こう!」と先生に連れられてき
た憶えがあります。昨年 40 年ぶりに県美へ来ました。
・ご専門の動物生態学よりも、美術館そして忠良記念館のことになるとニコニコと眼を輝かせて話が止まらなかった 2 代目館長の加藤陸奥雄先生のお顔が、いつも浮かんできます。
・小さい頃に親に連れてきてもらい、社会人になってからは幼稚園の先生として、引率で連れて来ました。いつも、変わらずそこにある。皆の美術館！これからもずっと！
・学生時代、基礎工事から建築の経過を毎日見ていました。オープンと同時に通い始め、造
形遊戯室と北庭で子育て…40 年以上、人生と共にある美術館。今はランニングで朝日を楽しんでいます。
・山本壮一郎知事に感謝。
・1990 年の今頃、大きいおなかをかかえてお庭を散歩しました。お父さんにはいつも心から感謝。
・美術館が建てられる前からこの美術館の前を通勤で歩いていました。過去の展示会のポ
　スターを見て、ほとんど見ていたことに気付きました。美術への関心を、そのたびごとに引き起こされました。
・いつかどっかでお目にかかった絵！ 又どっかで会おう！ やはりわが春は又、くると信じて！
・学生の時の開館展を観て圧倒されたのを覚えています。建物も心地良くて・・・。それ以来、何かと寄って心の栄養を補充させてもらっています。ワークショップやギャラリートークも利用させてもらい、生活の中にアートを感じる大切なところです。
・お庭と彫刻が充実しているので何度も息抜きに来ました。アリスの庭で友人ができたのが財産です。
・おたんじょうびおめでとうびじゅつかん。
・居場所。心のどんな時も
・初めて来たのが１５歳。もう２８年ほとんど毎年来ているので、思い出しかありません。
・何もわからなくてとても楽しかった幼児期。わかった“フリ”をして「なる程…」と言

ってみていた少年期。だんだんと“ミカタ”がわかってきた中学、高校の頃。美術館の「危機」が迫り、存続に「情熱」もやした青年期…。
・40 才、ほぼ同年代だということに驚きました。子供の頃から、「美っくり」の世界にひきこまれ、今は美術の仕事に。我が家の子ども達も美術館の外、中でたくさん遊んでいます。
・子供たちの成長と共に美術館がありました。子供たちの入賞や入選の作品を見に来るのを楽しみにしていました。
・宮城県美術館が開館したのが高校を卒業した年でした。展示だけでなく庭やレストラン、図書館等、フリーで使えるスペースもありお休みの時にしょっちゅう来てここの空間を楽しんでおりました。今でもここ大好きです !! これからも長く県民に愛される場であってほしい!!
・生まれたばかりの長男を乳母車に乗せて展示会を歩いていたら、たまたまその後ろ姿が開館して間もない頃の印刷物の写真として使われていた事（笑）。
・よく孫と来ました。今は、だれも来てくれないです。
・展示を観た後の「カフェでひと息」の時間が大好き。
・小さな頃から親に連れられて芸術を好きになるキッカケになりました。
・今回の展示おもしろかった！ 40 年あっという間ですね。
・小さい頃から、女手一つで僕を育ててくれた母に何度も連れられて行った場所。「ヤアマン」の水路でパチャパチャと水遊びがルーティーンでした。楽しかったな…。
・川内は米軍のキャンプがある所で夏の花火が華やかでした。今は県美術館があり、いつも素晴らしい企画の花火が上がっています。いつまでも！
・1992 年、日中国交 20 周年、来年、50 周年の際にも中国の美術館との連協出来たら、美しい話なのに! 中日友好、世界平和。
・両親と糸車の前で写真を撮りました。開館当時のことで今もアルバムにあります。両親は亡くなりましたが、糸車の像を目にするたび思い出します。
・数回しか展示会に来たことはありませんが、その度に、静かな感動に浸る幸せを感じました。アリスの庭も、レストランもコーヒー屋さんもとてもお気に入りです！
・家族と来ました。母がとても楽しそうにしていたのがうれしかったです。今度は、自分の子供ができたら一緒に来たいです。
・中学 1 年の時に、夏休みの宿題をまとめるために、展示を観に来たのが、一番印象に残っています。
・40 年以上前に大阪より仙台に転勤しました。美術館作成中にも来ましたがその後有名な展示に来ています。100 回以上です。
・今日の展示を見て 2000 年ごろから自分は良く来ているのだな、と改めて思いました。
・存続ありがとうございます。仙台に越してきて 20 年。子供 3 人つれて 2 ～ 3 時間作品を見ている間、走り回る子の世話をするのは私。今は 1 人でゆっくり楽しめます！

・この美術館は私の心のオアシスであり続けました。他所ではもう想像すらできない。これからも応援していきます。ポスター展良かった!!なつかしいです。
・いつもほっと安心できる大好きな空間。ありがとうございます！
・美術はどうあるべきか、それを実践してきたという印象が強い。建築が建築として扱われてきたという印象が強い。
・沖縄に住む美心ちゃんが生まれたので、記念して直子ちゃん家族を招待して訪れた。
・２さいのときに写真をとったこと。
・開館は私が 10 歳のとき。高校の卒業アルバムは庭の池で撮りました。　大学の写真の課題や学芸員資格実習でもお世話になったことが思い出です。
・美術館の空間が好きです。デートに何回来たっけか…笑。
・20 年以上前受付・監視員として働いていました！！今思えばとても幸せな職場環境…。
・小学生の頃、渋谷栄太郎画伯より習った思いがあり、そのおかげで美術が好きになりました。恩師の作品がここにあると思うと足がむきます。又、菊池華樵、華陽という画家がご先祖様で、作品は残っていないので美術館の片すみにでもあればというささやかな夢があります。
・いっぱいあります。一言で表すと、ありがとうございます！です。大好きです(笑)
・小さい頃に訪れても何も感じなかったけど、大きくなった今、少しでも考えられることが増えた。時の流れと成長を感じた。
・４０年も経っていたことに驚いています。亡き父と一緒に来たのが初めてで、ここ１０年はほとんど拝見しています。父と撮った階段での写真が思い出です。
・本日、初めて来館させて頂いたのですが、りっぱな美術館だと思います。40 年という事ですが、400 歳のハッピーバースデイ展が開催されますよう。
・亡くなった母が、「ここに来て、今まで知らずに生きてきた絵画のことをいろいろ勉強出来てうれしかった…」と生前よく言っていたのを思い出しました。
・40 年おめでとうございます。結婚して丁度 40 年同じ年、感慨深いです。主人の影響で美術館巡りしています。
・子どもたちと裏庭でゆっくり歩いた記憶があります。心をおだやかにする時間をつくれたことに感謝です。
・下の子が小さい時によく連れて来て遊戯室や前庭で遊ばせました。夏の暑い時、前庭の水辺で遊ばせ、子供は大よろこびでした。私が美術好きだったこともあるのでしょうが、子供が 2 人ともアート系の学校に行ったのもここがあったおかげなのでしょうか。下の子は今卒業制作の真っ最中です。
・いつ来てもゆっくりくつろげて、すばらしいです。これからの企画にも期待しております。
・♡美術館さいこう♡

・２０才のときにこの地に美術館ができて以来ずっと楽しませて頂いています。この空間が大好きです。
・今は孫と愛犬と一緒に散歩を楽しんでいます。
・生活に追われている毎日。夫に声をかけてもらい、美術館へ。ゆったりした時間を過ごせました。4 年前に他界した父を思い出しました。
・たくさんの人に愛された場所だったのだと改めて思いました。
・家族 4 人でよく美術館に来ますが、展示によって誰が一番早く出口にたどりつくか毎回ちがい、おもしろいです。家の中では気づくはずもない類の１人１人のペースが感じられます。
・私が仙台に住んでちょうど 40 年です。とても静かで良い場所にある美術館です。
・10 年振りに仙台に訪れた時、県美のアリスの庭に来て昔にもどった気分になりました。
・もっと美術館に来たいです！

●創作室・ワークショップの思い出
・創作室で大人でも子供でもいいんだ！と思えるようになりました。今の私がいるのは創作室のおかげ！
・創作室の粘土のプールに入るのは苦手でした。入ったら冷たくて気持ち良いのですが、年度がくっついてしまうのが嫌だったからです。小さい頃の話です。妹は平気で入っていました。
・小学生のころ、関口怜子さんによる、美術館が会場のアート講座に参加していました。現在は東京在住で、美術館やギャラリーの展示を見学したり、アートに親しんでいます。
・３５年前の頃、子供３人つれて粘土遊びをしました。まだおしめをしていた子が洗い場に落ち、あわてたことを思い出します。
・創造室で銅版画作品や絵を描く楽しさを覚えました。
・やっぱり創造室の粘土とかおもろかったよねー。
・創作室が誰にでも開かれている場所だということを知らない人、沢山いると思います。もっと沢山の人が利用してくれればいいなと思います。芸術作品ではないのですが、ちっちゃい縁台を作ったことがあります。角ノミがあって、たすかりました。自転車の荷台に、トタンの箱を取り付けるのにも部屋をお借りしました。汚しても、多少の音を出してもいいのがうれしすぎる。
・子どもが小さかった頃、創作室で粘土作りをしたり、庭のトトロ迷路？で遊んだり…。美術館はとても身近な存在でした。
・小さい頃、アトリエの先生、教室の子どもたちと一緒に、美術館へ庭を探検したり、粘土で遊んだことを思い出しました。とても楽しい体験で、今でも絵を描くこと、作ることは大好きです。

・創作室に、高校の美術部展のポスターを作りに来ました。シルクスクリーンで。
・高校生のとき、美術部員と一緒にシルクスクリーンをしに美術館に来た事を、なつかしく思い出します。泉から。ワイワイ、ガヤガヤ楽しく作業しました。今日は、その時の副部長と来ました。（約 40 年前の部長）。
・美術教員生活のスタートからラストまでずっとお世話になった県美・創作室でした。シルクスクリーンでのポスターづくりやそれぞれの企画展鑑賞に、部活の生徒達をつれてよく通わせてもらいました。ありがとうございます。
・保育士をしています。子どもたちと、粘土作りをしたこと。美術館内を探険したこと。楽しい思い出です。
・高橋貴和先生にシルクスクリーンを教わりました。版を洗うときの水しぶきを思い出します。
・創作室で様々な講座を受講したこと。「マアヤン」設置前の回廊から樹木を銅版画で制作したのが記念になりました。
・小船を作るワークショップに参加。創作室で作った船を美術館の池で浮かべて観察。大人限定の内容で、普段、家でやらない行程もあって新鮮だった。

●展覧会の思い出

・忠良展、ハウズナー展、今日のイラストレーター展…創作準備室の壁面にずっと貼ってありました。思い出す～！
・信濃川の河川敷で、100 万本のチューリップの花を降らせた中川さんの作品（その下で大野一雄さんが躍った）を見に行って、その時撮った映像を、この企画で展示していただいたのですが、嬉しい思い出です。
・2005 年に大原美術館展！ 私のふる里、倉敷の宝物をまた観られるといいな～と思っています。
・震災の後、茫然自失の日々でしたが、フェルメールの絵に囲まれて、芸術の持つ力に癒され、そして力づけられるのを感じました。
・絵本原画展 1998。フェルメールが 2011。とても良かったです。さすが宮城県美術館。ずっとここで。
・1998 年、佐伯祐三のポスターで記憶が呼び起されました。18 歳、浪人時代たてる自画像とイースタンユース。
・フェルメールすごかった！！
・1989、仙台が大都市になった年。四谷シモン展があったんですね。当時は知らなかった。
・孫と来た「ぐりとぐら展」「ディズニーアート展」が思い出に残っています。
・家族 4 人でグリグラ展、フェルメール展、奈良・中官寺の国宝展に行きました！作品をみた後、皆で語り合う時間が大好きです！
・40 年間の作品を振り返ってみて鮮明に記憶に残っている作品が数多くあり、この美

術館が残って良かったと思いました。作品を見た時（当時）の自分を思い出しながら、付随して　あ～、この作品は友人の〇〇さんと見たな～と思い出深かったです。
・沢山ありますが、子供 2 人うまれて母親になってから見たピカソ展。自分の中に眠っていた価値観がめざめ、今の価値観が崩れたようなキモチになって、いい大人なのにワクワクしました。
・シャガール展が素晴らしかったです。2 回目に行った後、家に 1 回目の本（作品）もあり、“ 2 回目だったんだ！”と。フルタイムの仕事を辞めてからは、土日祝日開催の“アートギャラリー”映像で作品を見る。1 時間だけでも、パートの合い間に通い楽しんでいます。忠良記念館の、絵本の、絵のみの展示も好きです。これからも楽しみたいと思います。
・学生時代によく来ました。卒業後もよく来ます。思い出深いのは 2011 年のフェルメール展！
・子どもが小さい頃から四谷シモンを見せに連れて来ました。今、子どもは 2 人芸アート分野を目指しています。
・子供が小さい頃素敵なお庭にどれだけ楽しませてもらったことか。　絵本原画展は必ずみに来てました。　私の個人的な好みはアンドリュー・ワイエス展、舟越保武さんでした。感謝しています
・93 年アフリカ彫刻は、とても印象的でした。
・私が見学するようになったのは 20 年位前からですが、好きなのはヨーロッパの写真のような絵です。
・1991 年昭和の絵画展の折、若桑みどりさんの講演を聴きました。イタリア美術のファンで良く本を読んだり、テレビに出演（日曜美術館）されたりしたものは、必ず見ていました。ポスター（名前）を見て懐かしく思い出しました。ロダン展にオープニング出席されていた本間元知事、芸術をよく理解していた知事でしたね。
・最近までの「香月泰男展」も良かったです。（祖母の出身地、萩へ行ったとき、足を延ばして、金子みすゞの生家まで行く途中の駅（長門駅？）でこの方の展示がありました。）　シベリアシリーズ　香月氏の体験からの数々の絵画に、圧倒されました。
・平成 3、4 年頃から外国からのゲストをよく案内してきました。いつも好評でした。環境的にも。展示の想い出も数多くありますが、学芸員に直接解説してもらったアンドリューワイエス展も印象的でした。他に新しい試みとして、中川賢一氏のピアノコンサートは、空間の響きもすばらしく、夜の催しということも県美は思い切ってくれたなという思いがしました。
・沢山の美術作品と出会えた場です。ケール・コルビッツが一番印象に残っています。
・「２０世紀絵画の新大陸ニューヨークスクール」でポロックやロスコを見たとき心がふるえました。他の展示（現代美術の）でデュシャンの「泉」のレプリカをみた時もワクワクしました。現代美術にふれる機会、そしてキュレーターの説明、沢山してほしい

です。わからなくてもふれたい！それがＡＲＴ！
・娘が保育園時代にグリとグラのコスプレをしてもらいました。かわいらしかったな～今は…？
・グリグラ展で、椅子に座って写真とったのが楽しかった。また遊びに来ます！
・勤めていた会社をやめフリーランスでやっていこうと決めたとき、最後の仕事を印刷所に入れ終えた私は、どこかに寄って帰ろうと思った。そのとき思い浮かんだのが宮城県美術館。7、8 年ぶりだった。「ブブノア展」が開催中。ロシア出身で日本に長く暮らしたこの女性作家が、私には大切な作家になりました。美術館って不思議です。変わらずそこにあるから信頼が生まれるんだと思う。
・2004 年のマルモッタン美術展に、病気中の主人が車で連れて来てくれました。その時に図録と、小さな箱に入った菓子を買いました。空箱は捨てられずに未だ居間の小たんすの上にあります。主人の方から博物館もいいよ！と言ってくれ、地図学者伊能忠敬展も見ることができました。主人は、その 2 か月に亡くなりました。忘れられない思い出です。
・ピカソ展が印象的だった！！
・子どもの頃、母に連れられこちらで拝見したルノワール展やシャガール展が、とても思い出に残っています。なんとなく絵をみているうち、知らず知らずのうちにアートに触れ、感性を育まれていたのだと、大人になってから気づかされました。
・杉戸洋さんの展覧会の、展示室の空間の自由なよみかえが、とても印象的でした。
・高山先生のインスタレーション衝撃的でした。創作室も使わせていただきました！
・美術に関心を持ち始めた大学生の時に通うようになりました。関心や興味をもったイベントに足を運ぶことの高揚感は、かけがけのないものだったと思っています。とりわけ、ルノワールの展示が、私の中の大きな衝撃でした。
・アンソール展で監視員をしました。ネムカケしていたらお客さん 1 人に「あれは地震計ですか」ときかれました。はい、どの位ゆれたら忠良さんの像がたおれるか…いいえ温湿度計でしたね。
・世界の著名現代美術家が日本の伝統に作画した作品としての凧展は圧巻であった。創作室での現代風作家で日本の凧の会員広井力氏による凧つくりも有意義であり、個性もあるモダンカイトを美術館で揚げたのも楽しかった。

●イベントの思い出
・20 年位前でしょうか？年末の休館に開催されたコンサート中川氏（Ｐ）のメシアン、幼な子の…素晴らしかった！
・20 年くらい前、小松在住の「デジタル掛け軸」アーティスト長谷川章さんの作品そのものを県美術館でやっていたのを思い出します。
・加古隆の「パウル・クレーの絵のように」を聴きながら、クレーの絵を味わっていた

（つもりになっていた）青春の日々でした。ぜいたくな時間だった…。
・思い出はヤマほどありますが、ロビーコンサートで聴きほれた古川展生さんのチェロや中川賢一さんのピアノによるメシアンが忘れられません。建築のすばらしさゆえだと思っています。
・中川賢一さんのメシアンの事を書かれている人がいますが、私はその前後に会った、武満徹のピアノ曲全曲のコンサートを聴きました。忘れられない思い出です。

●県民ギャラリーの思い出
・2019 年 10 月 1～6 日に開催した王希奇「一九四六」宮城展が忘れられない。油絵「一九四六」は縦横 20mのキャンパスに約 500 名の引揚者の姿が描かれている。画家王希奇は絵の展示された会場で絵を描いた動機・方法の講演を行った。また、同じ会場で「再生の大地合唱団」が公演し、約 120 名の聴衆に深い感動を与えた。この会場で絵と歌のコラボレーションができたのは素晴らしいことと思えた。今年の 11 月に「一九四六」高知展が開催される。公共機関ではなく民間団体による実行委員会が主催したことに意義があった。
・30 年くらい前だと思いますが、県民ギャラリーで、大場順一さんと、大島貴明さんの 2 人展をやった時のオープニングイベントで踊ったことを思い出しました。なつかしいです。大嶋さんが、学芸員になる前のことです。

●建築について
・都内で行列しながら鑑賞していた企画展示も、県美で観ると別物になるんです。ひとえに場所の館内の空気のおかげ。
・エントランスから続き広がるタイルがとても大好きです。安らぎと期待が増して非日常へと。素晴らしい造形と思います。
・仙台に来て、初めて見た美術館名建築は県美でした。圧倒されたのを覚えています。
・わざわざ訪れて観る意味のある場所です。前川建築!!
・たくさん思い出があります。自分が生まれた 1981 年 10 月竣工した美術館だと、すぐそばの二高に通っていた時に知り、それから前川國男さん設計の建築を巡る事が長年続いている。ライフワークです。
・高校生の頃初めて友達と美術館に来ました。ピカピカの施設に感動。今はユルユルのんびり歩ける味のある施設。時代をつくる施設ですね!
・仙台に家族 3 人で転居して間もない頃。散歩していて居心地の良い建物だなぁ…。初めての出会いの時。
・美術館ができた頃、私は大学で弘前に住み始めました。お城の公園にも行き、市民会

館にも大変お世話になりました。近くには市役所も…。でも、今回の移転問題がきっかけで、初めて前川國男氏のことを知った次第です。弘前も大好きなところです。“前川ブルーさがしてきました”前川氏の作品についての催しものも観たいと思います。そして、この美術館が、この素晴らしい環境と建造美のまま、存続されていけるように、と思います。できること、協力したいです！

●コレクション・展示作品について

・40 年前、カンディンスキー・クレーを中心にした作品を展示するという事で、楽しみにしていました。でもその後、美術館予算がけずられてあまり発展する事がなかったのは残念です。州之内コレクションを一括で展示できているのはとてもうれしいです。
・猫の絵、アリスの庭のネコちゃんが大好きです。
・姪、甥が小さい頃、よくアリスの庭にきました。とてもよろこんでいました。
・青騎士、カンディンスキー代表作「カーニバル冬」を見学していると、とある老人が「少しは、わかるから、説明してもよい」とボソボソ言われた。土曜日の 12 時ころだったので、アッという間に、6、70 人が集まり後ろには、館長さんもいた。「売店で、私の書いた本も売っているので、なんでしたら読んでみたら」というので、記念に買った。『パウル・クレーの芸術』（西田秀穂 4200+税）。「カーニバル冬」の説明後、「美術館はなんの目的で建てるのか考えて建てないといけない」と言われたのが印象に残っている。2006 年博物館で韓国研修会（光州、ソウル）をしたが、国立光州博物館で、「何の目的で建てたのか」と西田先生を思い出し、たずねたら「新安海底一沈没貿易船から引き揚げたもの」とも言われた。
・初めて訪れた際、北庭の彫刻「馬に乗る男」をはじめ、野外彫刻の見た目のインパクトが強烈で印象に残りました。宮城県美術館の庭にあるからこそ、独特な雰囲気を醸し出しています。
・心わくわくする素敵な作品と出会える場所
・大学進学で仙台に来てキャンパス近くに立派な美術館があることにとても感動しました。パウル・クレーが大好きになりました。
・やわらかい常設展の作品（表現主義を初めとする）が好きでした。来ると落ち着く場所です。
・アリスの庭が好き！子供たちと遊んだ思い出が忘れられないです。
・開館の時、友達と見に行ったのですが、その時、松本竣介の絵がとても気に入りました。

●現地存続について

・移転中止！心から喜んでいます。杜の都仙台の緑深い場所でこれからもステキな企画をたくさん見せてください！アリスの庭大好きです。

・昭和 56 年の県政だよりに美術館の記事が大きく掲載されています。村井知事は知っているべきかと！断念されて本当に良かった！！
・子供とよく来ました。青葉山ふもとの風景にとけこんで美術館そのものがこの辺りの風景を構成する重要な要素だと思います。移転はナンセンスです。
・まずは良かったネ。でもこれからガンバロー！
・前川建築を守れてよかった。県民で大切に育てていきましょう。
・宮美、残って良かった。もっともっと良い宮美にするには、本館があり、移動別館もあって良い。
・次に、この地に何を建てようと思っていたのでしょうか。
・美術館ができた時は私は高校生。その後、東京の大学に進学して都内の美術館を巡っているうちに美術館を訪れる事は日常となっていました。雨の日には子供たちをココに連れてきて、よく遊ばせました。いつまでも、この場所にあるものだと思っていたので、移転の話が出た時はショックで大変なことが起きた!!と危機感を持ちました。移転しなくて本当に良かった。ポスターを見てつくづくここにいれる幸せを感じています。
・県美移転反対活動に加わった一人としてよく来ました。現地で良かったとつくづく思っている。
・前川國男設計の美術館が存続できて良かった！娘達も多くのワークショップに参加させてもらった。長～いおつきあいの美術館、庭も含めて心地良い空間をありがとう！
・よかったよかった。本当にこの美術館が残ってよかった。皆がいつも集える場所に。
・40 年経っても現地存続 !! 芸術都市として存在してほしいかな。
・心が休まるところなのでこのまま。この場所にあってほしいです。
・この場所で存続することが決まってほっとしています。広瀬川が見える場所にある彫刻、これからも維持して行って下さい。
・この場所、この建物が宮城美術館。ずっとずっと。
・この場所がイイのです！ 川内の環境で、このままずっと、ココで。
・この場所で本当に良かった !! たくさんの本物を楽しませてください。
・このままこの場所でのこってほしいです。立地も建物も大好きです。いつもありがとう。
・この場所に残ってくれることになり、嬉しいです。今後とも、世界中の美術品を見せていただけたら良いと思います。お願いします。

●「宮城県美術館４０歳のハッピーバスディー展」について

・40 周年並びに現地存続、おめでとうございます。とても思い出深く企画展の歴史も見応えがありました。
・40 年おめでとうございます。歴史の中に数々の人々が生き続けています。今後も、この地で歴史を重ねて行き、訪れた人々の心に残る作品でありますように。

・過去にさかのぼって見たい企画展がいっぱいありました。これからも楽しみにおつきあいして行きたいです
・県美 40 歳、おめでとうございます！50 歳還暦、喜寿、米寿、卒寿と末長く、ここに在りますように！芸術家の創作物、そこから受ける感動、インスピレーション、アートを味わうゆとりあるひとときがとっても大切。娘とももっと来たいです。
・1995 年～、その前も美術館のお知らせを放送していました。悦ばしい。やっぱり県美っていいネ！
・元県美学芸部長のことば、とても良い。その通りだ。
・この展覧会そのものもアーカイブにしてほしい。でっかいポートフォリオにしてほしいです。
・インテリアを学ぶ専門学生です。この詳細図を見れてほんとう良かった。
・ポスターのデザイン、手法、色使い、印刷技術、字詰めに時代の流れを感じた。
・ムスコの年齢と同じ 40 才宮城県美術館 40 才おめでとうございます。恩師である、村上善男先生のポスター　宮城輝夫先生の作品写真もあり、なつかしいです。
・またこういう事が出来る美術館になりますように。
　美術館の現地存続、本当に嬉しかったです。ほっとしました。こんなにいろんな作家、ジャンルの展覧会があったなんて、今だったら全部見に来たい！県美ネットを中心にした今回の運動で美術を見る目、美術館への気持ちが変わりました。
・建物は固定資産だが美術館は生きている。ポスターをながめていたら、美術館は樹木だと！年輪が浮かんできた。繁る葉の輝きがさしこんできた。呼吸し続けてほしい。
・県立美術館について改めて考える良い展示でした。皆でアーカイブをより充実させて 10 年後も観たいです。
・関口さん井上さんのトークセッション。松本竣介の作品の話が出てくるとは思わなかった。俺も松本竣介、大好き。
・（40 周年のために写真を応募した）本人です。使ってもらって嬉しい！この写真は一生のたからものになりました。
・（40 周年展のために応募した）お友達の写真を見に…。菩薩半跏像と同じポーズをとった彼女…。やさしいほほえみは菩薩さまとかわらぬことのいつくしみにみられた姿でした
・常設展や特別展よりも人と絵の距離が近い気がしました。平和展は小学生のときから毎年見に行っています！
・若いときにデザインしたポスターがあり、なつかしく思った。
・何げなく、眺めている感じだったポスターがこんなにいろいろ主張しているとは。開催中、ポスターの販売など企画してもらえたら…。勝手な事かいて、すみません。
・ポスターだけでああこれも見たっけとなつかしく思い出しました。この頃はあんな事こんな事あったよねと自分を振り返りました。

・40 才おめでとうございます。この 40 年間半分近くを親の介護に明け暮れていましたが、美術館に足を運んでは身も心もリフレッシュしたものでした。ポスターを見ていくうちにどれもこれも当時の感覚がよみがえっては消え…。絵は音楽と共に不思議な力を与えてくれるものです。　この地に生き残る美術館、大事に使いますから、ずっとずっと元気で建っていますように !!